

# 発達障害児楽しく運動会

富山で6月初開催 300人規模



大会方針について話し合う実行委員ら＝県総合体育センター

発達障害のある子どもたちの運動会が6月、県内で初めて開かれる。集団行動が苦手だったり、感覚過敏でピストルの音が苦手だったりする子どもたちに楽しんでもらおうと、県内の放課後等デイサービスや大学の関係者らでつくる実行委員会が企画した。初会合が2日、運動会の会場となる富山市秋ヶ島の県総合体育センターであり、委員らが大会方針について話し合った。

(社会部・村田美七海)

## ルール簡略入退場自由

放課後等デイサービスは、障害のある小学1年～高校3年の子どもたちを放課後や長期休暇中に受け入れる施設。

発達障害の他、身体・知的障害も対象で、児童福祉法に基づき2012年に制度化された。同年に1カ所だけだった県内事業所は急速に増え、18

年12月時点で97カ所となつた。

発達障害のある子どもは、集団行動が求められる学校行

事への参加が難しい場合がある。放課後等デイサービス「ヴィストカレッジ富山駅前」(富山市神通本町)のセンター長

を務める林原洋二郎委員長は

「誰の指示を聞けば良いか分からなかつたり、途中で嫌になつてしまふ子どもが多い」と話す。

気負わず参加できるよう、大会名は「富山県放デイゆるゆる大運動会」に決めた。綱引きや玉入れなど、運動会の定番種目に加え、「ゆるスポーツ」と呼ばれる気軽に楽しめる運動を取り入れる。ルールを分かりやすくし、途中の入退場を認めたり、自由に運動できるスペースを設けたりして、子どもたちに負担が掛からないよう工夫する。

大会は6月8日、県総合体育センターと、近くの県空港スポーツ緑地で開催する。県内の放課後等デイサービス事業所を利用している子どもたちと保護者や運営スタッフ300人の参加を目指す。富山大や富山福祉短大の学生にも競技の考案や運営に協力してもらう予定だ。

実行委の長谷川暁信事務局長(県空港スポーツ緑地管理事務所長)は「子どもたちに楽しんでもらうことはもちろん、保護者同士の交流や学生の成長の場にもなるような運動会にしたい」と意気込んだ。